

みんなの話・輪・和

令和3年3月 第7号 文責：広安西の子部長（本田 有美子）

先輩方に学ぶ

前回、第6号で4年生の地域学習（湧き水）についてお知らせしました。今回は、いつも環境委員会の活動にご協力いただいている土屋さん（広崎1町内区長さん）と有尾さんに益城町の湧き水について、さらにお話をうかがいました。2号連続でお伝えします。地域の方の思いや活動に触れることで、益城町のよさをさらに感じるができると思います。

☆子どもたちの学ぶ姿について

実際に湧き水に触れて感じたことについて、意見を出し合いながら記録する子どもたちの姿に溢れんばかりのエネルギーを感じました。

そのような子どもたちの姿を見ることができ、とても嬉しかったです。

☆地域に湧き水が出ることについて

湧き水がある地域に人々が集まって生活を始め、そこにまた、水を必要とする生き物が集まって益城町のような自然に囲まれた環境が出来上がりました。湧き水が流れる川、湧き水を引いた田に実るお米、そしてそこに住むメダカやザリガニ…。家のそばに湧き水が流れ出るということは、自然とともに生きているということだと感じてもらえればと思います。

☆今後、子どもたちに願うことは？（地域の未来や湧き水について）

長い年月の間に、水の環境も変わってきました。人々は長い歴史の中で、水の文化を作り上げてきました。この地域にどのような水の文化があるかなど、歴史を見つめてほしいと思います。他の地域にも湧き水がある場所がたくさんあります。そのような地域の方と交流しながら、これから先、どうすればこの環境を守っていけるのか、よりよい環境を作っていけるのかを考えていってほしいと思います。せっかく素晴らしい湧き水の環境にいるのですから…。

水路での活動の様子

